

2024年3月21日作成 Ver.3.0

《顎骨嚢胞性疾患の鑑別におけるMRIを用いたRadiomics診断法の有用性に関する研究_情報公開文書_3版》

顎骨嚢胞性疾患の鑑別におけるMRIを用いたRadiomics診断法の有用性に関する研究

研究の概要

【背景】顎の骨（顎骨）にできる病気に嚢胞があります。顎骨内に形成された洞に液体が溜まる病気ですが、腫瘍との鑑別が困難なことがあります。MRIはこのような病気の診断によく行われる検査ですが、通常行なっているMRI検査ではやはり鑑別困難なことがあります。

【目的】本研究は、MRI画像の持つ多くの情報を数値化し統合的に解析することで、より画像診断の効率と精度を高め（Radiomics診断法と言います）、嚢胞と腫瘍の鑑別を試みる研究です。

【意義】従来の診断法と比較し、Radiomics診断法の有用性を明らかにし、病変の診断や治療に役立てたいと思います。

【方法】カルテ情報を用いて患者さんの病理診断名を確認し、研究対象に当てはまる方（嚢胞と腫瘍）を選択します。次にその方のMRI画像データを数値化・解析を行うことにより、病理診断と同様に顎骨の嚢胞と腫瘍の鑑別が可能であるか確認します。

対象となる患者さん

顎骨の嚢胞性病変が確定された患者さんで、2012年4月1日から2026年12月28日までの期間に長崎大学病院でMRI検査を受けた成人の方を対象とします。いずれも治療開始前の検査であることと、Siemens社製3T MRI装置Skyraで検査が行われている必要があります。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者背景情報：年齢、性別、診断名、既往歴、病理診断
- 画像検査情報：MRI

匿名化された情報を用いるため、個人が特定されることはありません。しかしながら研究のために自分のデータが使用されることを望まれない方は、下記の研究責任者までお知らせください。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

外部への情報の提供について	
該当なし	
情報の利用開始予定日	
本研究は2024年4月16日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。	
ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。	
あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2028年3月31日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 口腔診断・情報科学 氏名：榮田 智 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7709
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 口腔診断・情報科学 担当者名 榮田 智 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095 (819) 7709 FAX 095 (819) 7711	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200 受付時間 : 月～金 8:30～17:00 (祝・祭日を除く)	